

【 会 議 録 （ 概 要 ） 】

実施日時： 平成 29 年 8 月 28 日(月) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

会議名	越谷市行政経営審議会委員委嘱式及び平成29年度第1回会議	実施場所	越谷市役所 本庁舎5階第1委員会室
件名/議題	【委員委嘱式】 1 開式 2 委嘱状交付 3 市長あいさつ 4 委員の自己紹介 5 閉式 【平成29年度第1回会議】 1 開会 2 議事 (1) 越谷市総合戦略の進捗状況について (2) 第6次越谷市行政改革 平成28年度取組実績報告について 3 閉会		会議資料： (■有 □無)
出席者等	出席委員 宇田委員、延寿寺委員、延与委員、大野委員、大谷委員、栗田委員、小室委員、田中委員、田中委員、手塚委員、戸張委員、横家委員 欠席委員 浅井委員、安嶋委員、坂本委員、 説明員 利根川行財政部長、高橋政策担当部長、橋本市長公室副参事(兼)政策課長、中村政策課副課長 事務局 大熊行政管理課長 行政管理課：中山主幹、相田主幹、森谷主事 傍聴人 なし		
●主な内容等 【平成29年度第1回会議】 (1) 会長及び会長職務代理者の選出について このたびの委員改選に伴い、当審議会設置条例第5条の各該当規定に基づき、委員の互選により大谷委員が会長に選出されるとともに、同会長の指名により大野委員が会長職務代理者に選出された。 (2) 越谷市総合戦略の進捗状況について 越谷市総合戦略の進捗状況について、政策課が配付資料に基づき説明した。会議当日の委員からの主な意見は次のとおり。 〔主な意見〕 <ul style="list-style-type: none">・合計特殊出生率とはどういったものか。・達成率が0%のものでも計画通りにいっているとあるが、安易に結論を出す必要があるのか。数字に表れない要因もあると思うが、一つの指標をもって計画通りというのは心配である。 <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>			

(3) 第6次越谷市行政改革の取組状況について

第6次越谷市行政改革の取組状況について、事務局(行政管理課)が配付資料に基づき説明した。会議当日の委員からの主な意見は次のとおり。

〔主な意見〕

- ・電気契約の見直しの取組について、電気料金の削減額が少ないと感じる。東京電力と電気代値下げの交渉を検討してみてもいいのではないか。
- ・最近集中豪雨がすごいが、越谷市は集中豪雨の対応はしているのか。削減計画だけでなく、洪水等の対策に係る設備など検討しているのか不安に感じている。
- ・電気契約の見直しと電気のLED化は関係があるか。
- ・PFIという一般的な建物の建設だが、PFI方式による小中学校の空調設備の設置の取組は建物の建設を含んでいないのか。
- ・市全体の財政状況について、5年後、10年後、20年後など中長期のビジョンが経営の羅針盤としてあるべきと考えるが、本市には中長期計画やビジョンはあるか。10年後を見据えた長期計画があれば、行政改革の取組が市民も理解しやすいのではないか。
- ・外郭団体の健全経営の促進について、点検評価の内容と評価した課はどこか。効果として具体的になんらかの数字や成果が見られたのか。
- ・報告書に当初の計画の効果見込みが載っておらず、達成度が分かりづらいので、掲載すべきではないか。
- ・住まいの情報館の廃止後の活用方法は決まっているか。また、プロポーザルなど募集し、建物の利用者を募集する考えはあるか。

【次回会議】

次回会議の開催予定は次のとおり（後日文書で通知）。

- ・日時／平成29年11月

平成29年8月28日

越谷市行政経営審議会
委員委嘱式及び平成29年度第1回会議

次 第

【委員委嘱式】

- 1 委嘱状の交付
- 2 市長あいさつ
- 3 委員の自己紹介

【審議会会長及び会長職務代理者の選出】

- 1 会長の選出
- 2 会長職務代理者の選出

【平成29年度第1回会議】 ※公開

- 1 議事
 - ①「越谷市総合戦略の進捗状況の報告について」
 - ②「第6次越谷市行政改革 平成28年度取組実績報告について」
- 2 その他

【委員委嘱式】

〔開式〕

〔委嘱状交付後、市長から次のような挨拶が行われた。〕

○市長 本日は、ご多用にもかかわらず、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、このたびは、行政経営審議会の委員を快くお引き受けいただきまして、厚く御礼を申し上げます。

ご案内のとおり、越谷市は平成27年度に県内2番目の中核市になりました。

これによって、従来にも増して、数多くの事務事業が本市の単独事業として加わり、より一層、市民の皆様にきめこまやかな行政サービスを提供することができるようになりました。

一方で、長引く景気の低迷や、少子・高齢化など、自治体を取り巻く環境が極めて厳しい状況にあります。

しかし、こうした中にありましても、市民の暮らしを将来にわたり豊かなものにする使命を負う市政に、少しの停滞も許されません。

委員の皆様には、行政改革をはじめ、市政に関する重要事項について、ご審議をいただくこととなりますが、是非、忌憚のないご意見を頂戴できればと考えております。

本市といたしましても、引き続き、市民の皆様が「越谷市に住んでよかった。」と実感できるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

委員の皆様方には、それぞれの見地に立ってご審議を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。委嘱に当たりましてのあいさつとさせていただきます。どうぞ、よろしく願いいたします。

〔委員の自己紹介〕

〔閉式〕

【平成 29 年度第 1 回会議】

○行政管理課主幹 今、審議会委員の委嘱が済みしましたので、このあと、第 1 回審議会を開催させていただくわけですが、本日の審議会は、一部の委員さんの交代によります新体制での第 1 回目になりますので、開催に先立って、まず審議会の議事進行の任にあたります会長及び会長職務代理者の選出を行わなければなりません。

つきましては、それまでの間、事務局で進行させていただきますので、よろしく願いいたします。

はじめに、会長の選出でございますが、資料 3の「越谷市行政経営審議会設置条例」を御覧いただきたいと思ひます。この第 5 条第 1 項に、「審議会に会長を置き、委員の互選により定める」となっております。

まず、自薦の方はいらっしゃいますでしょうか。

自薦はいらっしゃらないようですので、次に、どなたかを推薦される方はいらっしゃいますでしょうか。

○委員 大谷先生にお願いしたいと思ひます。

○行政管理課主幹 ただ今、獨協大学教授の大谷委員を推薦するお声がありましたが、皆様がいかがでしょうか。

○委員一同 異議なし。

○行政管理課主幹 大谷委員、よろしいでしょうか。それでは、大谷委員に会長をお願いしたいと思ひます。ご協力ありがとうございました。

○大谷委員 よろしくお願ひします。

○行政管理課主幹 次に、会長職務代理者をお決めいただくわけですが、先ほどの審議会条例第 5 条第 3 項には、会長職務代理者は会長が「指名する委員」と規定されておりますので、大谷会長から、どなたかを御指名いただければと思ひます。

○会長 それでは、かつて行政職員として経験豊富な大野委員にお願いしたいと思ひます。

○委員一同 異議なし。

○会長 では、よろしくお願ひします。

○行政管理課主幹 それでは、会長及び会長職務代理者は、恐縮でございますが、正面の席へお移りいただければと思ひます。

○行政管理課主幹 それではここで、ただいま選出されました会長及び会長職務代理者から、改めてそれぞれ御就任のごあいさつを賜りたいと存じますので、よろしくお願ひします。

○会長 よろしくお願ひします。

○会長職務代理者 よろしく申し上げます。

○行政管理課主幹 それでは、ただ今から、越谷市行政経営審議会、平成29年度第1回の審議会を始めさせていただきます。会議に先立ちまして、新しい委員さんもいらっしゃいますので、審議会の扱い等につきまして3点御説明いたします。

1点目は、本審議会の委員の身分ですが、地方公務員特別職となっておりますのでご承知の程よろしくお願い致します。

2点目は、本審議会は、「越谷市審議会等の設置及び運用に関する要綱」の規定に則りまして、個人のプライバシーに関する事以外は原則公開とさせていただきます。

3点目は、本日分を含めました会議録は、毎回出来上がりしました段階で委員の皆様へ内容を御確認いただいたのちに、市のホームページ等で公表させていただいております。

また、委員名簿につきましても、会長等の表示を追加した内容で、併せて公表させていただきますので、ご理解いただきたいと思います。

私ども職員の紹介につきましては、恐縮ですが資料2の席次表をもって替えさせていただきます。

本日は、おおむね3時半を閉会予定として進められればと考えておりますので、ご協力の程重ねてお願い致します。それでは、議事の進行を大谷会長、よろしく願いいたします。

○議長 それでは、審議会の議長を務めさせていただきますので、委員の皆様への御協力をお願いいたします。会議に入ります前に事務局に確認します。本日、傍聴希望者はいらっしゃいますか。

○行政管理課主幹 いらっしゃいません。

○議長 それでは、これより議事に入ります。

はじめに、「越谷市総合戦略の進捗状況」につきまして政策課より説明して下さい。

○市長公室副参事（兼）政策課長 それでは、越谷市総合戦略の進捗状況についてご説明いたします。

初めに、越谷市総合戦略の進捗状況について、ご報告させていただく前に、総合戦略の概要、進行管理の考え方などについて、ご説明をさせていただきます。

資料4-2をお願いいたします。

まず、総合戦略の概要ですが、1ページをお願いいたします。

策定の趣旨としましては、日本は、平成20年を境に人口減少の時代へと突入し、今後も加速度的に少子高齢化・人口減少が進むと推計されております。このような課題に取り組むため、平成26年「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、2060年、平成72年に1億人程度の人口を確保する中長期展望を示す、「まち・ひと・しごと創生長期

ビジョン」と、5か年の政策目標・施策を示す「まち・ひと・しごと創生 総合戦略」が策定され、本市においても、地域の特性に即した課題解決を目指すため、越谷市総合戦略を策定したところでございます。

本市の総合戦略の位置付けと策定の考え方につきましては、総合戦略と同時に検証を行った越谷市人口ビジョンの内容を踏まえ、本市の実情に応じた今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的施策を示し、更には第4次越谷市総合振興計画 後期基本計画との整合を図った上で、将来的に検討すべき取組も含めて位置付けを行いました。

人口ビジョンの概要でございますが、別添の資料4-3に詳細を記載しておりますが、時間の都合上、こちらの資料でご説明させていただきます。

人口の動向ですが、本市の人口は、現状のまま推移すると2021年、平成33年に34万150人をピークにその後、徐々に減少すると想定されています。

2ページをお願いいたします。

合計特殊出生率の推移でございますが、本市の合計特殊出生率は、下の表のとおり全国、埼玉県と比べて低く推移しており、平成16年以降は概ね上昇傾向にあるものの、平成25年では1.29となっており、全国の1.43、埼玉県の1.33より低い数値となっております。

将来の人口ビジョンでございますが、人口減少に伴う少子高齢化の到来により、医療・福祉等の市民生活全般のサービスの低下と負担の増大、生産年齢人口の減少による地域経済の縮小など地域社会に様々な変化を及ぼすことが想定されるため、長期的な人口を把握し、必要な対策に活かすことが重要なため、50年先の人口推計をいたしました。

人口の動向でございますが、本市の人口が現状のまま推移した場合、平成72年には26万589人で22.1%の減となります。

本市の今後の人口を推計するにあたり、本市の合計特殊出生率の状況や国が目指すべき合計特殊出生率を考慮して、より現実性の高い推計を行った結果、本市が目指すべき将来人口については、平成72年、2060年に約29万7千人の人口を維持することを目標といたしました。

5ページをお願いいたします。

総合戦略に定める内容でございますが、人口ビジョンから見えてきた課題を解決するため、枠内にお示しのとおり、4つの基本目標を定め、基本目標1では、雇用を創出し、職住近接のまちをつくるという観点、基本目標2では、越谷市の魅力発信の観点、基本目標3では、若い世代への結婚・子育て支援の観点、基本目標4では、安全・安心な地域づくりの観点といった、4つの基本目標に設定し、具体的な施策における数値目標の

ほか、各施策の進捗状況を検証するための重要業績評価指標、いわゆるK P Iを設定し取り組んでいくこととしております。

7ページをお願いいたします。

7ページ以降の構成は、まず、基本目標1では、(1)基本目標の考え方・数値目標、(2)施策の基本的方向、8ページに(3)具体的な施策とK P Iをまとめ、11ページに(4)今後検討していく施策として整理しております。

以下、基本目標2から4につきましても、同様の構成として整理しております。こちらの詳細につきましても、時間の都合上、割愛させていただきますので、恐れ入りますが後程、再度ご確認の程、よろしくお願いいたします。

続きまして、総合戦略の進行管理についてご説明いたします。総合戦略については、課題に対する適切な数値目標等を基に、実施した施策・事業の効果を検証することが重要であることから、効果の検証については、その妥当性・客観性を担保するため、市政の重要事項について調査審議を行う行政経営審議会において、ご審議をいただくこととさせていただきます。

それではこれより、進捗状況の報告について、ご説明いたします。恐れ入りますが、資料4-1、まち・ひと・しごと創生 越谷市総合戦略進捗状況報告書の1ページをお願いいたします。

はじめに、(1)の目的ですが、本報告書は、人口ビジョンの目標や総合戦略に掲げた4つの目標の実現に向け、総合戦略に掲げる施策の着実な推進を図るため、実施した施策・事業の進捗状況を把握し、効果検証を実施することを目的としております。

次に、(2)総合戦略の進行管理ですが、①の「基本目標」では4つの基本目標に沿って6つの数値目標を掲げ、また、②の「具体的施策」では13の具体的施策に沿って37のK P Iを掲げ、目標値に対する平成28年度の進捗状況を把握することとしております。

③の「今後検討していく施策」では、4つの基本目標に沿って、15の施策を掲げ、平成28年度の施策の検討状況等を把握することとしております。

次に、(3)報告書の対象年度ですが、本報告書では、総合戦略の計画期間である平成27年度から平成31年度のうち、平成28年度の実績についての報告となります。

次に、2ページをお願いいたします。

(4)の総合戦略の進捗状況についてですが、進捗率の算出方法は、平成26年度現況値を基準に、計画期間内における取組みにより、どのくらい進捗が図れたのかを分かりやすく示すため、枠内のおり、目標達成率が0%からのスタートとなる算出式を採用し、各指標の成果を明確に示します。

次に、3ページ、A3のページをお願いいたします。

2 総合戦略の体系図及び進捗状況ですが、一番左の項目「人口の目標」、平成72年に約29万7千人の人口維持、こちらが人口ビジョンの将来展望を示したものでございます。この目標を踏まえ、次の項目に政策分野ごとに4つの「基本目標」を設定いたしました。そして次の項目に、この基本目標の達成に向けてどのような施策を推進していくかを、「基本的方向」として記述しております。

また、次の項目では、基本目標ごとに、具体的施策・KPIを設定し、この具体的施策の達成に向けてどのような事業を展開していくのかを、「具体的な事業」として記述しております。

次に、4ページをお願いいたします。

ここからは、4つの基本目標ごとに、平成28年度末の進捗状況について進捗率、現在の進捗状況、今後の見通しなどを示しております。

構成は、ダイヤモンドの項目で整理をしておりますが、最初に各基本目標の具体的施策について、順に、数値目標について、今後検討すべき施策について、まとめという4つの構成とし、その後のページにおいて各数値目標・KPIの詳細について記述しております。

本来であれば、基本目標1から4まで順を追ってご説明させていただくところですが、時間の都合上、まとめの部分のみの報告とさせていただきます。

22ページをお願いいたします。

「総括」となりますが、KPIについては、37のKPIうち、計画通りに進捗しているものが30事業、計画より遅れているものが5事業、平成27年度で事業が終了しているものが2事業となっており、事業が実施されているもののうち80%以上が計画通りに進捗していることから、取組が着実に進捗していると考えております。

また、数値目標については、進捗率には表れていないものもございますが、5カ年度計画の2カ年度目の実績であること、また、具体的な施策は概ね着実に進捗していることから、目標達成に向けて着実に進捗しているものと考えております。

さらに、今後検討する施策についても、15施策のうち6つの施策で事業展開が進んでおり、総合戦略の取組が着実に進捗しているものと考えております。

なお、人口について平成72年に人口約29万7千人の人口維持とする目標と比較したところ、平成29年の推計人口33万7,482人に対し、実績値が33万9,677人で2,195人の増加となっていることから、市の取組が着実に進捗しているものと考えております。

以上、駆け足のご説明となってしまいましたが、この「進捗状況報告書」につきまして

ては、再度、委員の皆様にご確認いただく中で、質問等がある場合は、大変恐縮ですが、9月30日までに行政管理課宛にメール等でいただければ幸いです。なお、書式は自由とさせていただきますが、お手元に配布させていただいたような項目を記載の上、ご提出いただくと助かります。本件につきましては、次回の行政経営審議会におきまして質疑等のご回答させていただき、改めてご審議をいただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。説明につきましては、以上でございます。

- 議長 ただ今の説明について、委員の皆様から何か御質問や御意見等がありましたら、積極的にお願いします。
 - 委員 合計特殊出生率とはどういったものですか。
 - 市長公室副参事（兼）政策課長 女性が一生涯のうちにお子さんを何人産むかというものです。
 - 委員 出生する対象の説明は分かりましたが、出生率とはどういうことですか。
 - 市長公室副参事（兼）政策課長 お子さんを産むと見込まれる人数です。
 - 議長 いわゆる出産適齢期の女性が何人産むと見込まれているかということですね。
 - 委員 達成率が0%のものでも計画通りにいっているとあるが、安易に結論を出す必要がありますか。数字に表れない要因もあると思うが、一つの指標をもって大丈夫といわれていることが心配です。高齢者が増えており、中学生や学齢前の方が減っているが、長期的に見て人口は大丈夫というグラフなどの資料があれば分かるが、一つの指標だけを見て大丈夫というのはいかがなものでしょうか。
 - 市長公室副参事（兼）政策課長 おっしゃるとおり総合戦略は、長期的な取組の中で見えてくるものです。計画通りだが0%の進捗率のものは6項目あり、十分な説明が表記されていないものもあります。所管課で数字上は現れていない取組をしているものもあり、そういった取組を踏まえて計画通りとしています。総合戦略の性格上、単年度で人口が増えたから順調というのではなく、長期的な推移をみていかないといけない性質のものだと認識しています。
 - 委員 現状で言い切れないのは良く分かりますが、埼玉県の平均よりも合計特殊出生率が低く、高齢者が増えていて大丈夫なのか疑問です。審議会の中で今後も明らかにしていっていただきたい。越谷市は環境がいいのに県平均よりも低いというのはなぜなのか気になります。
 - 議長 次回の審議会では委員の皆さんが気になりそうな項目について1、2個例示をあげて説明いただくと分かりやすいと思います。ほかに質問はありますか。
- 〔発言する人なし〕
- 議長 無いようですので、この件の質疑につきましてはこれで終了いたします。資料を

お持ち帰りいただき、お気づきの点があれば別途ご質問いただければと思います。政策課の職員は退室していただいて結構です。お疲れ様でした。

○議長 次に、二つ目の議題、「第6次越谷市行政改革 平成28年度取組実績報告」について、事務局から説明をお願いします。

○行政管理課長 それでは「第6次行政改革 平成28年度取組実績報告」についてですが、まず、越谷市における行政改革の取組みについて簡単に説明させていただきます。

行政改革とは、一般的に、事務事業の効率化や経費縮減、財源確保、組織の合理化や職員数の適正化等により、効率的で効果的な行政運営を確保し、最終的には、市民サービスのより一層の向上を図ることを目的とするものですが、越谷市では、昭和60年度から開始された第1次行政改革を皮切りに、平成27年度までに5次にわたる行政改革を実施し、これによる財政的な効果額としては、平成27年度末までの累計で、約11億7,100万円となっております。

本日は、平成28年度から32年度までの5年間を対象とする第6次行政改革について、その初年度である28年度の取組みの結果が取りまとまりましたので、ご報告させていただきます、ご意見を伺うものです。先に資料5をご覧くださいと存じます。

これは、第6次越谷市行政改革大綱の全文でございまして、平成27年8月24日に越谷市長から大綱案を本審議会に諮問させていただき、5回にわたる審議ののちに、平成28年3月14日に答申をいただいた内容を反映して確定したものでございます。

第6次行政改革の基本方針では、3項目を位置付けました。

第1は、無駄のない、メリハリの効いた自治体運営

第2は、役所と民間が持っている内外資源のフル活用

第3は、健全財政の堅持 です。

この3つの基本方針のもと、3ページ以降になりますが、4つの主要な推進事項を掲げています。1点目としましては事務事業の徹底改革、2点目としまして5ページの組織力の強化、3点目としまして6ページの市民満足度の高い行政サービスの推進、4点目としまして7ページの健全財政の堅持を掲げております。さらに合計14の具体的な推進事項を取り上げて、平成28年度から平成32年度までの5年間の期間で、全庁をあげて精力的に取り組むと位置づけたものです。

次に、資料6をご覧くださいと存じます。

はじめに1ページ右の円グラフをご覧ください。

第6次行政改革では、29項目・31件の取組を実施計画に挙げまして、そのうち、実施に至ったものが23件、取組に着手はしたものの、成果には至っていないものが5件、検討中のものが3件となっておりまして、実施率は、73%で、財政的な効果額は、

約3億1,655万円となっております。

実施いたしました23件のうち、効果額の大きい取り組みを、①、②、③に掲げております。

歳入効果の大きな取り組みとして、①の下水道使用料の改定によりまして、1億6,000万円の増収。歳出効果の大きい取り組みとして、②PFI方式による小中学校教室等へのエアコンの設置で、1億3,242万円、③電気契約の見直しで、1,212万円の経費が削減できました。

なお、エアコンPFIの効果額につきましては、平成29年から平成42年までの事業期間13年間の全体の効果額とされます3億7,400万円を平準化いたしまして、第6次行政改革における平成32年までの5年間の期間に相当した額を、効果額として計上しております。

3ページから4ページにかけては、全取組29項目の実施状況を〔○〕で示しております。5ページから15ページにかけては、具体的な実施内容と効果を記載しております。16ページ以降は、個別の取組の効果額を記載してございまして、〔表〕の右側に、歳入効果額、歳出効果額、投入経費額を示し、財政効果額を整理させていただいたものです。

続いて18ページ、19ページについては、16ページ17ページの表から財政的な効果額が見込めるものを抽出いたしまして、改めて一覧表としてまとめました。19ページの表の最後に経費削減額、歳入確保額、投入経費として掲載しており、その結果として先ほど説明したように効果額が約3億1,655万円となりました。

また、報告書の今後の取扱いとしましては、本日ご意見をいただき市長決裁をとった後に、HP等で公表を予定しております。平成28年度の取組実績報告につきましては以上です。

- 議長 ただ今の説明について、委員の皆様から何か御質問や御意見等がありましたら、積極的にお願いします。
- 委員 電気契約の見直しについて、電気料金の削減額が少ないと感じます。私の会社では電気契約を見直し、もっと削減ができました。
- 行政管理課長 まず、電気契約の見直しとしては2つの取組を行っています。市民活動支援課が所管しております北越谷地区センター、川柳地区センター、大沢地区センター、南越谷地区センターにおいて電気料金の見直しを行いました。東京電力との契約期間を2年に変更することで、先行割引制度などが利用でき、合計12万7千円減額できました。また、学校管理課では市内45校の小中学校で民間企業との契約に切り替えたことで減額できました。方法としては、越谷市に業者登録している業者の中で電気供給がで

きる業者による入札を実施し、電気供給業者を東京電力から変更したことにより、1,205万円の減額となりました。この額については、業務ができる業者全てによる入札を実施した結果だと理解しています。契約期間が終了後に再度競争入札を実施する予定ですので、引き続き費用節減に努めていきたいと思えます。さらに、市の施設で民間業者への切り替えにより電気料金が削減できる施設について、各担当課で現在検討いただいているので、引き続き、電気料金の引き下げを検討していきます。

○委員 当社は東京電力との契約は変わりませんが、交渉して値段が安くなりました。東京電力との交渉を検討してみてもいいと思えます。

○議長 学校の電気契約の入札に東京電力は入っているのですか。

○行政管理課長 入っていません。

○議長 行政管理課から今出た意見を所管課にお伝えいただいて、今後検討していただければと思えます。

○委員 最近集中豪雨がすごいです。越谷市は集中豪雨の対応は大丈夫でしょうか。削減計画だけでなく、洪水等の対策に係る設備など検討しているのか不安に感じています。いかがでしょうか。

○行政管理課長 集中豪雨に対する取組といった内水対策は治水課が行っています。新方川の堤防かさ上げ工事、各ポンプ場の整備や定期的な防災パトロール、市内ポンプ場の操作点検等を行っています。本報告書では触れていませんが、市としても集中豪雨に対する対応は重要なものと考え、適時対応を取っております。

○委員 時代が変わり危機も変わっている中、以前は床上浸水などの被害だけだったものでも今では人的被害が伴う水害も増えています。防災無線がとても聞こえづらいので心配です。いろいろなものが動いているのであれば問題ないですが、動いているという実感がありません。

○委員 電気契約の見直しというのは、電気のLED化とも関係がありますか。

○行政管理課長 LED化の取組の影響というよりは、電気契約の自由化がきっかけです。

○委員 LED化すると電気料金の削減など図られますが、そういったことは含まれていないということでしょうか。

○行政管理課長 LED化による電気料金の削減の取組ということだと、5ページに道路照明灯のLED化の取組を掲載しています。道路照明灯のLED化については、すでに平成27年度に市内全体で1万3,000基のうち7,800基についてLED化しており一定の電気料金の削減が図られているところです。今回の第6次行政改革の取組として取り上げた道路照明灯は、ワット数が大きい700基で、新たにLED化を検討していくものです。この取組によってさらに電気料金の削減が図られると考えておりま

す。

○議長 PFI方式による小中学校の空調設備の設置の取組ですが、PFIというと一般的に建物の建設を思い浮かべますが、この取組は建物の建設を含んでいないのでしょうか。手法を教えてください。

○行政管理課長 本来は業者に建設工事を直接発注するのが一般的でございます。PFI方式ですとコスト削減や支払いの平準化などのメリットがあります。今回の具体的な手法ですが、まず、PFI業者を公募し、1社と契約するに至りました。その1社はエアコンの設計業者や建設工事業者など10社ほどの事業者がグループとなり法人化したものです。業務の内容は、エアコンの設計、設置工事、工事期間中の監理、本年10月1日の供用開始から平成42年までの運営及び保守管理を一括して依頼します。その間の資金については、PFI業者が金融機関からの借入れ等での対応が原則ではございますが、随時、その費用については、契約期間中に分割して事業者を支払っていきます。

○議長 小中学校の校舎の建設に伴うものではなく空調工事のみということですね。分かりました。

○委員 先ほど人口ビジョンの話がありましたが、人口の推移が問題ではなく、その結果で越谷市の職員の人口当たりの人数、高齢化に伴う社会福祉制度の内容といった将来の姿の話であると認識しています。特に市全体の財政状況について、5年後、10年後、20年後など中長期のビジョンが経営の羅針盤としてあるべきと考えます。そういったものながいと、第6次行政改革で出した3億円はどういった位置付けになるのか、市がどこに向かっていくのか分かりません。そういった中長期計画やビジョンは越谷市にはありますか。

○行政管理課長 お尋ねの中長期的計画に当たるのが、越谷市では総合振興計画になります。現在第4次総合振興計画の最中でして、平成28年度から32年度は後期基本計画の期間に位置付けられています。人口推計や行政需要を踏まえて越谷市の施策がどうあるべきか検討し、事業を取捨選択しながら財政規模に対して事業規模が過大にならないように整理し、対応しております。次の振興計画は第5次総合振興計画が平成33年度から開始される予定です。策定に当たっては、行財政の見通しや13地区それぞれでまちづくり会議を開催し、地域住民の方に会議に参加いただき、地域の課題を確認させていただきながら対応していきたいと考えています。

○委員 長くても5年の計画ということが分かりました。企業ではないので難しいとは思いますが、このままいくとこうなるというようなものがあると、下水道の料金を上げるにしても、10年後にはこうなってしまうので、値上げするというのが示せば、より市民の理解が得やすいと思います。

- 議長 行政で長期的な計画というのはかなり難しいですね。民間企業でも外部要因の影響を考えながら計画を作ると思いますが、行政はさらに外部要因の影響が大きいです。民間企業や個人から税金を納めていただくので、市がいくら頑張ってもどうにもならない部分もあります。また、税制改革は国主導で行われるのでなかなか読みにくいです。10年後20年後の財政ビジョンを出すというのは他市でもないのではないかと思います。確かにそういったものがあると市民の理解を得やすいというものもあると思います。
- 委員 8ページの外郭団体の健全経営の促進について、点検評価を行った部署は主体がどこになり、どういった評価を行ったのでしょうか。効果として具体的になんらかの数字や成果が見られたのでしょうか。
- 行政管理課長 外郭団体は現在7団体あります。経営健全の取組はもちろん各団体が主体的に取り組むものと考えておりますが、出資や債務保証をしていると経営の悪化があった場合、市の財政に影響がありますので、取組指針を策定し、指針に基づき外郭団体の健全経営の促進に取り組んでいます。この取りまとめは、行政管理課が所管となっておりますが、各団体の所管課としては、例えば外郭団体には東部流通センターがありますが、東部流通センターは農業振興課が所管課になっています。この所管課が前年度の決算書をもとに点検評価を行い、その結果をHPで公表しています。経済的な部分でどれくらい効果が出たか数字で回答するのは難しいですが、経営の状況がHP等で市民に明らかになるので、緊張感を持った経営が図られ、結果として適正な外郭団体の運営に役立っていると考えています。
- 委員 マニュアルがあり統一した点検項目になっているのでしょうか。それとも所管課ごとに点検評価項目は異なっているのですか。
- 行政管理課長 各所管課で異なっているのではなく、総務省が示している基準をもとに同じ基準で点検評価しHPに掲載しています。
- 議長 外郭団体は出資比率で外郭団体を決めていますか。
- 行政管理課長 基本的には出資している団体ですが、出資していなくても越谷市の行政経営に深く影響がある団体も外郭団体に位置付けています。
- 委員 計画するときにはどれだけの効果があるか見込を立てていると思いますが、この報告書では当初の見込がなく結果だけが載っています。これでは達成度が分かりづらく、当初予定していた効果の見込みと実績が載っていると分かりやすいと思いますがいかがでしょうか。
- 行政管理課長 それぞれの取組で当初に見込みを出していますが、報告書には掲載していません。ですので、今ご指摘いただいたことを踏まえて見込に対して効果がどうだったか、次回の報告書で整理させていただきたいと思っております。

○委員 単年度の見込みでいいと思います。今年度は投資だけ行ったということだったら投資金額を載せ、歳入効果を0と見込んでいるということでだけでもわかりやすいと思います。ただ、実施というだけだと何を実施したのか分かりません。例えば市立病院は、一気に累積欠損金がなくなるわけではないので、もともとどれだけの累積欠損金があり、今年度はどの程度削減を見込んでいたのかがないと、市民が報告書を見て市が何を考えているのかが分かりません。投資しかなければ次年度以降になにかがあるなど分かると思います。

○議長 各年の見込みを出していますか。

○行政管理課長 出していますので、次回の報告のときに分かりやすくしたいと思います。

○議長 改革期間と現段階をグラフで示す手法は作りやすいと思いますが、単年度だと示しにくい取組もあると思います。しかし、審議会で議論ができるように資料を工夫していただければと思います。

○委員 12ページの住まいの情報館の廃止についてですが、住まいの情報館の廃止後はほかの用途に転用するなど活用方法は決まっているのでしょうか。または、プロポーザルなど募集し、利用者を募集する考えはあるのでしょうか。

○行政管理課長 住まいの情報館は、3月31日をもって供用されました。今後の用途につきましては所管課が建築住宅課なので、建築住宅課に確認し、書面等で回答させていただきたいと思います。

○委員 確か住まいの情報館はできてから20年程度だったと思います。強固な木造で建てたのに壊してしまうのはもったいないと思います。

○議長 ほかに質問はありますか。

[発言する人なし]

○議長 この件につきましての質問等はないようなので、そのほかに何か市に対して御意見や御提案等がありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

[発言する人なし]

○議長 ほかにないようですので、事務局からは何かありますか。

○行政管理課長 はい。本日の会議録につきましては、事務局でとりまとめの後、委員の皆様にご確認をいただくために後日郵送させていただきます。ご確認後、確定した会議録は市のホームページで公表させていただきます。

次に、次回の日程でございますが、11月を予定しております、日時、内容等確定次第、改めてご連絡させていただきます。以上でございます。

○議長 ありがとうございます。いまの事務局の説明について何かご意見等ありましたらお願いします。ないようですので、これもちまして本日の会議を終了いたします。ご

協力ありがとうございました。

- 行政管理課主幹 本日は、長時間にわたるご審議をいただき、ありがとうございました。
以上を持ちまして第一回の行政経営審議会を終了させていただきます。